

議長を除く全議員で構成される予算特別委員会(宮崎誠克委員長、近松里子・山路英男・山本昌宏・定野和広各副委員長)において、延べ107人の委員が、令和4年度一般会計予算など56議案について、活発な質疑を行い、慎重に審査を重ねました。その審査における主な質疑と答弁を掲載します。

自民党・市民クラブ

祇園中学校の施設整備

問 今の形の運動場で部活動や体育祭はどう実施すればよいのか。

答 使用する曜日や時間帯を部ごとに割り当てて行うなど、実施方法や内容を工夫しながら実施していく。

SSWの増員を!

問 SSWのさらなる増員等が必要だと考えるが、どうか。

答 SSWの派遣要請数の増加、子どもを取り巻く環境の課題の複雑化等を踏まえ、増員等に向けた検討を行っていく。

若年性認知症

問 若年性認知症の早期発見に関する取り組みはどのようなものがあるか。

答 市民向け講演会の開催等の普及啓発、認知症地域支援推進員による相談・支援、認知症サポーターの養成に取り組んでいる。

湯来企業団地の下水処理

問 企業団地の下水処理を整備するため、効果的な方策はあるか。

答 一定の収益を前提として、企業団地内の大型浄化槽が周辺未整備地域も含む共同浄化槽として活用可能か検討する。

広島高速4号線延伸の推進

問 関係機関との延伸事業についての協議は、現在どのような状況か。

答 アクセス向上・物流効率化等の効果について理解を得た。構造の協議を進め、早期に合意し手続きに入りたい。

北部バス路線のファイダー化

問 バス停待合環境を整備することが重要だが、乗継利用者の負担軽減策は。

答 総合福祉センターへのバスロケーション表示器の設置や乗継割引、急行便の運行について調整している。

ひろしま西風新都の都市づくり

問 梶毛西地区の開発はどうなるのか。

答 同地区土地の現保有者である事業者からは、開発に向けた具体的な検討を進めていると聞いており、今後、協議があるものと考えている。

生産緑地制度

問 令和2年度、3年度に生産緑地地区の指定に申し出た農家は何戸か。

答 令和2年度が18戸、令和3年度が11戸である。

農業の担い手育成

問 若い農業経営者を育成するための研修事業の中で、どのように支援するのか。

答 栽培技術について専任の職員が丁寧な指導するほか、地域に溶け込むための心構えについての座学を設けている。

廃食油のリサイクル推進

問 広島市として、今後どのように取り組むのか。

答 スーパーマーケット等における回収の取り組みが拡大されるよう、市民意識の醸成に向けて取り組んでいく。

広島城天守閣の木造復元

問 復元の根拠となる資料としてはどういったものがあるか。

答 江戸時代の絵図、指図や昭和初期に作成された実測図に加え、古写真や絵葉書などを確認している。

アーバンスポーツの普及

問 国際大会等の開催を視野に入れた若者への普及はどうするのか。

答 若い世代を中心に認知度や関心が高まっており、まちの活力創出にもつながるアーバンスポーツの振興を図っていききたい。

「特別自治市」制度の周知

問 「特別自治市」制度の認知度向上のため、学生等へのアプローチはどうか。

答 大学等へ制度の紹介の場を設けることを働きかけたり、大学のカリキュラムの一部で制度を紹介するなど、制度のPRに取り組んでいきたい。

広島広域都市圏の推進

問 島根県浜田市、美郷町、邑南町との連携に向けた進捗状況は。

答 広島広域都市圏全体のさらなる活性化が期待できることから、令和4年4月からの連携を目的に、調整を進めている。

自民党・保守クラブ

公立小中学校のトイレ

問 乾式化について、今後の洋式化に合わせて改修する予定はあるのか。

答 まずは、乾式化に比べ学校現場のニーズが高い洋式便器率を上げることに集中的に取り組んでいく。

学校施設の長寿命化

問 学校施設の使用年数を80年と設定したのはなぜか。

答 鉄筋コンクリート造の学校の望ましい耐用年数が最大80年であることを踏まえ、目標使用年数として設定した。

民生委員協力員の配置拡充

問 民生委員の負担軽減策としてなぜ協力員の配置拡充に取り組むのか。

答 民生委員の声を踏まえ、地域の実情等に応じて柔軟な配置等が行えるよう制度を拡充し、サポート体制を強化しようとするものである。

造血細胞移植後の再接種費用助成

問 この助成制度は、どのような制度か。

答 造血細胞移植等により、既に接種済みの定期予防接種を再接種する必要があるので、対象者の再接種費用を助成するものである。

人と環境にやさしい保育環境整備へ

問 今後の公立園建て替え時は、木材の活用を進めてほしいがどうか。

答 木材の利用が、良好な保育環境の確保に有益であるという認識に立って、整備手法や整備内容を検討していく。

奥迫川の放水路

問 県は整備するとういが、国がポンプ場を増設するほうが早いのでは。

答 国は追加のポンプ設置の予定はない。河川管理者の県は放水路を計画に位置付け、現在、課題を整理している。

西広島駅周辺の整備

問 北口・南口の駅周辺地区が今後どのような役割を担うと考えるか。

答 交通結節点としてより円滑な交通処理が可能となるとともに、駅周辺のにぎわいづくりに貢献するものと考えている。

平和大通りは全体を公園に

問 100m道路は己斐から一体化して全て公園にすべきと思うがどうか。

答 公園とするのは、まず、中区の区域で整備や利活用を進め、人の流れを呼び込む環境を築いた上で、西区の区域にも広げたいと考えている。

スーパーマツの植栽で災害を防ぐ

問 松枯れ被害を防ぐスーパーマツを植えた実績があれば教えてほしい。

答 本市域における広島スーパーマツの植栽は、これまでに6カ所、約3万本で実施してきている。

集会所へのAEDの設置

問 集会所にAEDを設置するにあたり、何か条件を設けるのか。

答 AEDの「管理者」「点検担当者」を定め、「点検担当者」を定め、AEDの使用方法を習得する講習を受講することを条件と考えている。

柔道人口減少対策に施設の整備を

問 柔道は施設さえあれば競技人口の減少は止まる。市の考えは。

答 施設整備については、広域的な視点で、どういったことができるか令和4年度の調査の中で研究していきたい。

他国の戦争被害も学べる機会を

問 本市でも多様な海外版の平和展を開催(誘致)できないか。

答 各種団体と連携しながら、市民が他国の戦禍の実相についても理解を深めることができる機会の充実に努めたい。

公明党

不登校児童生徒の居場所

問 ふれあい教室は、市内4カ所に限らず、新たな教室を設置すべき。

答 通室児童生徒数の増加等を踏まえ、新たなふれあい教室の設置について検討を進めていく。



ふれあい教室・中

放課後児童クラブ待機児童

問 高学年で放課後児童クラブを利用できなくなった待機児童への対応は。

答 児童館に遊びに来た際に気掛かりな様子がある場合は、教職員と情報交換を行うなど、引き続き学校と連携して対応する。

福祉避難所に非常用電源を

問 非常用電源の設置等、福祉避難所の環境整備に努めるべきと考えるがどうか。

答 福祉避難所には、非常時の機能維持の環境を整えてもらうことが望ましく、国の補助制度の積極的な活用を働き掛けたい。

マンション管理の早期適正化を!

問 マンション管理計画の認定制度において、市独自の認定基準を設定すべきでは。

答 管理計画の認定に市独自の基準を設定することについて、関係団体の意見等も参考に、その必要性を検討する。

平和の発信を花々で

問 広島駅に花々を設置し、「ヒロシマの心」を世界に発信できないか。

答 再整備する広場施設へのさまざまな仕掛けを検討し、関係団体にも働き掛け、来訪者が広島を感じられるよう取り組む。

新たな動物との出会いはいつ?

問 マルミミゾウの繁殖開始時期と、コビトカバの導入時期はいつか。

答 マルミミゾウの交配は、順調にいけば令和4年8月頃を予定しており、コビトカバの導入は、令和9年度を目指している。

防犯情報を市公式LINEで

問 不審者情報を共有し子どもたちを守るためにLINEで発信してはどうか。

答 「防犯情報」をLINEで発信することについては、令和4年5月中旬に運用開始できるよう、調整をしている。

エールエールA館以外の候補地は?

問 図書館の現在地建て替えと移転建て替え。どれだけ検討したのか。

答 利便性、周辺の環境、まちづくり、事業費などについて比較を行った。



マルミミゾウ